

九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和7年2月分：速報)

<対世界>

○輸出総額:1兆528億円(伸率: +12.4%) ⇒ 3か月連続のプラス

・順位:11位、2月としては1位

【順位は、昭和54(1979)年1月以降(554か月、2月は47か月)による。以下同じ。】

・増加品目:半導体等製造装置(同+52.9%)、自動車(同+11.3%)

○輸入総額:7,840億円(伸率:▲8.5%) ⇒ 2か月ぶりのマイナス

・順位:50位、2月としては3位

・減少品目:原粗油(同▲19.1%)、石炭(同▲31.4%)

○差引額:2,689億円(伸率:3.4倍) ⇒ 2か月ぶりの輸出超過

・順位:3位、2月としては1位

為替レート: 2025年2月:154.61円/ドル(2024年2月:148.18円/ドルと比べ4.3%の円安)

<品目別動向>

○輸出

半導体等製造装置(682億円→1,043億円、伸率: +52.9%)は、韓国(312億円→529億円、同+69.8%)及び台湾(5億円→119億円、同24.1倍)向けが増加し、2か月ぶりのプラスとなった。

また、自動車(2,551億円→2,839億円、同+11.3%)は、メキシコ(99億円→191億円、同+93.1%)及びオーストラリア(71億円→153億円、同2.2倍)向けが増加し、3か月連続のプラスとなった。

一方、映像機器(76億円→46億円、同▲38.9%)は、タイ(32億円→7億円、同▲79.0%)及びアメリカ(23億円→14億円、同▲41.0%)向けが減少し、4か月連続のマイナスとなった。

○輸入

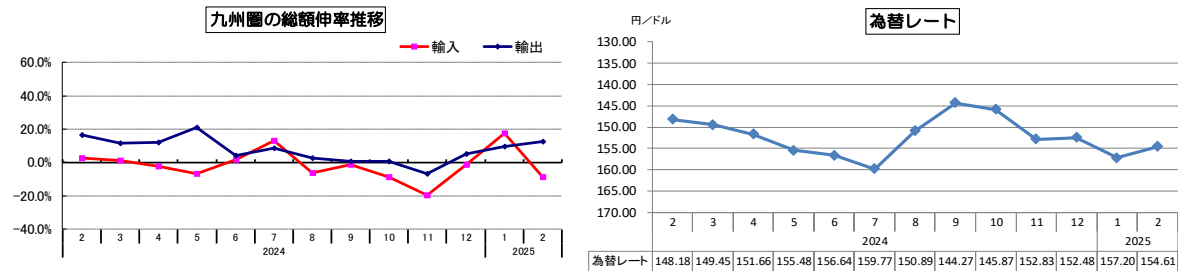
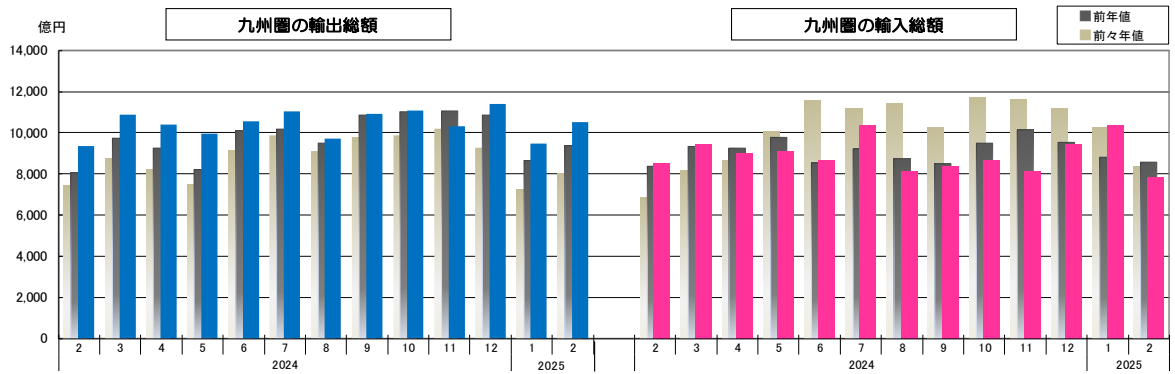
原粗油(242万KL→196万KL、伸率:▲19.1%、1,879億円→1,521億円、同▲19.1%)は、サウジアラビア(132万KL→82万KL、同▲38.0%、1,020億円→658億円、同▲35.5%)及びクウェート(22万KL→5万KL、同▲75.3%、167億円→43億円、同▲74.3%)からが減少し、2か月ぶりのマイナスとなった。

また、石炭(321万MT→295万MT、同▲8.1%、948億円→650億円、同▲31.4%)は、オーストラリア(212万MT→196万MT、同▲7.4%、594億円→455億円、同▲23.4%)及びアメリカ(38万MT→22万MT、同▲40.7%、156億円→50億円、同▲67.8%)からが減少し、2か月連続のマイナスとなった。

一方、半導体等電子部品(522億円→637億円、同+22.0%)は、台湾(420億円→524億円、同+25.0%)及びEU(20億円→49億円、同2.5倍)からが増加し、4か月連続のプラスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同月比

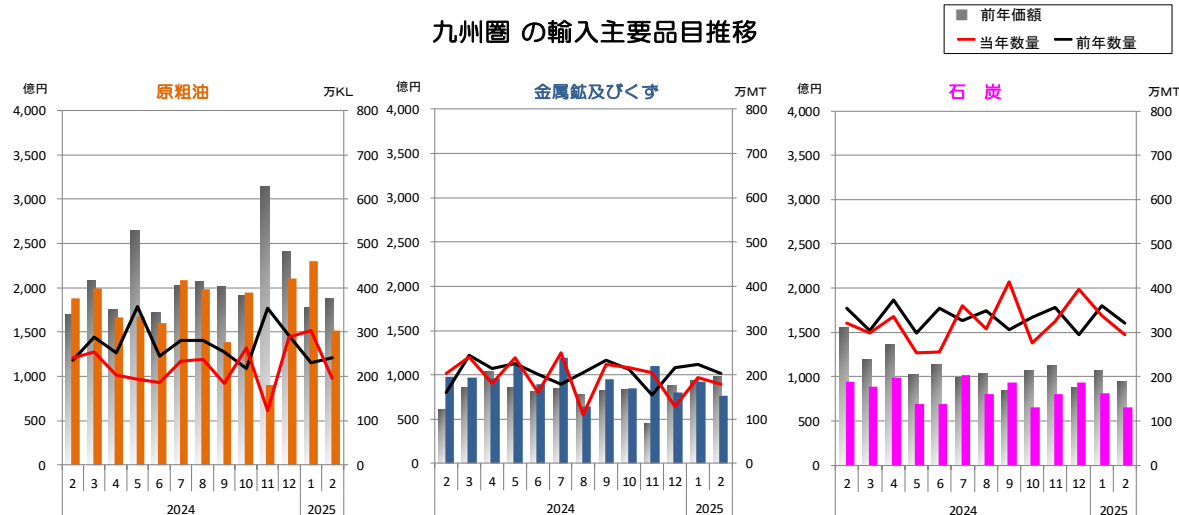
令和7年2月分：速報



九州圏の輸出主要品目推移



九州圏の輸入主要品目推移



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。